

令和3年度 山口大学における教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果による改善事項の対応状況（令和4年度）

●教育課程

No ○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	改善策	対応状況	計画の 進捗状況	推進責任者
1 (6-3-2) (6-4-3)	一部の授業科目のシラバスにおいて、必要な授業外学習時間が確保されているか確認しづらい状況である。また、シラバスの記載内容が十分ではない。	入力システムや点検体制の見直しを含めた改善を行うこと。	<p>令和4年2月末にシラバスの入力状況を確認したところ、全学的に未入力の項目等も確認されたため、令和4年3月に確認・修正期間を設け、各部局においてシラバスの入力内容の確認を行って頂くよう、教学委員会等で依頼を行った。特に各週の項目、各週の内容、各週の授業外指示の項目については、各部局の入力状況も共有し、注意喚起を行った。</p> <p>上記をふまえ、一部の研究科を除き、点検体制・方法は異なるが、教授会や教務関係委員会、事務部門での確認等が行われ改善されている。また、評価結果が不十分であった研究科においても、令和5年度シラバス点検は既に終えている、もしくは計画を立て点検を進めている状況である。</p> <p>令和5年度以降のシラバスについては、「山口大学シラバス作成ガイドライン」において、シラバス点検の実施責任組織、点検内容、点検・修正スケジュール等を示し、点検体制を規定している。また、入力必須項目が入力されないとエラー表示がされるよう入力システム（修学支援システム）の見直しも行っている。</p>	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)
2 (6-6-3)	一部の研究科を除き、成績評価の分布等を組織的に確認できていない。	「成績評価等に関するガイドライン」に基づき、教育課程責任者のもと、成績評価の分布が適切であるか確認を行うこと。	「成績評価等に関するガイドライン」に基づき、一部の研究科を除き成績評価の分布を組織的に確認できているが、未だ成績分布を組織的に確認できていない研究科がある。当該研究科については、令和5年度に令和4年度分も含め成績分布の確認を行うこととしている。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)

<p>3 (6-8-3)</p>	<p>卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることが、現在の意見聴取方法では確認できない。</p>	<p>卒業生・修了生卒業時アンケートの設問を見直し、各学部・研究科において、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られていることが確認しやすい環境整備の構築及び学習成果の確認を行うこと。</p>	<p>全学的に実施した「卒業生・修了生卒業時アンケート」の結果等を踏まえ、学習成果が得られていることの確認を全部局において行った。また、令和5年度より全学のアンケート結果をふまえ、各部局においてアンケート結果の確認及び意見交換をFDとして実施する計画にしている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>副学長 (教育学生担当)</p>
<p>4 (6-8-4)</p>	<p>一部の学部を除き、卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できない。</p>	<p>卒業・修了後のキャリア形成に関するアンケートの結果を踏まえ、大学の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることの確認を行うこと。</p>	<p>全学的に実施した「卒業・修了後のキャリア形成に関するアンケート」結果等を踏まえ、学習成果が得られていることの確認を各部局において行った。 令和5年度より全学のアンケート結果をふまえ、各部局においてアンケート結果の確認及び意見交換をFDとして実施する計画にしている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>副学長 (教育学生担当)</p>
<p>5 (6-8-5)</p>	<p>一部の学部を除き、就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できない。</p>	<p>山口大学出身者の就職先アンケートの結果を踏まえ、大学の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることの確認を行うこと。</p>	<p>全学的に実施した「山口大学出身者の就職先アンケート」結果等を踏まえ、学習成果が得られていることの確認を各部局において行った。 「山口大学出身者の就職先アンケート」(企業向け調査)は、次回令和6年度に実施し、令和7年度に報告予定としている。その際は、各学部・研究科においてアンケート結果の確認及び意見交換をFDとして実施する計画にしている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>副学長 (教育学生担当)</p>

●学生支援・受入

No ○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	改善策	対応状況	計画の 進捗状況	
1 (5-2-2)	各研究科で学生の受入状況を検証する組織として、研究科教授会又は研究科入試委員会が設置されているが、学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかの検証までは行われていない。なお、アドミッションセンターにおいて、大学院入学時調査を実施し、結果の分析は行われているが、結果を検証する取組及びその結果を入学者選抜の改善に反映することまでは行われていない。	大学院入試委員会において、大学院入学時調査等の結果を分析し、学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われていること検証及びその結果を入学者選抜の改善に役立てる取り組みを行うこと。	令和4年度に設置した大学院入試委員会において、入試の実施状況、適正な入学定員管理へ向けた取組、入試広報活動等について研究科ごとに振り返りを行い、主に入学定員の管理や学生受入方針に沿った学生の検証について議論を開始した。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)
2 (5-3-1)	人文科学研究科、創成科学研究科修士課程（山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻）及び創成科学研究科博士後期課程（自然科学系専攻及び物質工学系専攻）においては、入学定員に対する実入学者の割合の平均が0.7倍未満であり、入学定員を大幅に下回る状況である。また、技術経営研究科及び共同獣医学研究科においては、入学定員に対する実入学者の割合の平均が1.3倍以上であり、入学定員を大幅に上回る状況であり、改善の必要がある。	大学院入試委員会において、各研究科の入学定員管理の状況等について確認を行うとともに、実入学者数が入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍未満）の場合は、その適正化を図る取り組みを行うこと。	令和4年度に設置した大学院入試委員会において、入試の実施状況、適正な入学定員管理へ向けた取組、入試広報活動等について研究科ごとに振り返りを行い、主に入学定員の管理や学生受入方針に沿った学生の検証について議論を開始した。また、一部の研究科において実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は下回る」となっているため、入試広報の見直し、適正な入学定員の確保に向けた取り組みを行っている。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)

●教育設備（図書館）

No	改善事項	改善策	対応状況	計画の進捗状況	推進責任者
1	図書館の利用に関するアンケートにおいて、図書館における「開館時間の延長」と「空調の温度設定」に関する要望が出されており、検討が必要である	利用者からの要望については、その必要性等を考慮し検討したうえで対応可能であると判断したものであるについては改善を行うこと。	利用者アンケートにより再度検証した結果、「図書館の開館時間」に関しては総合図書館では91%が適当であるとの回答を得ており、医学部図書館では24時間利用が可能であり、工学部図書館では特に開館時間延長の希望はなく、「空調の温度設定」に関しては、開館時間に定期的に巡回し、温度・湿度の確認を行い、光熱水費の削減にも考慮しつつ利用者サービス向上にも努力している	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (学術基盤担当)

●教育設備（ICT）

No	改善事項	改善策	対応状況	計画の進捗状況	推進責任者
1	ネットワークの接続状況調査及び卒業時アンケート調査の結果、通信環境の改善を実施する必要がある。	無線 LAN の接続不良の部屋が多いとされる工学部を対象として通信環境改善対策を実施し、その改善状況を判断材料として、引き続き学内の通信環境改善を実施すること。	令和3年度の工学部の通信改善対策を実施し、令和4年度には医学部を対象に無線 LAN の通信環境の改善対策を実施している。 引き続き学内の通信環境改善を実施する。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (情報化推進担当)